



# 西脇市版情報活用能力体系表

令和5年3月版

具体的な力								
1年	2年	3年	4年	5年	6年	中1	中2	中3
<b>A 知識及び技能</b>								
1 情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能 ① 情報技術に関する技能								
ア コンピュータの起動や終了、写真撮影などの基本操作								
コンピュータの起動や終了、写真撮影などの基本操作ができる(端末ログイン時等にキーボード入力に慣れる)		キーボードなどにより文字が正しく入力できる		キーボードなどにより文字が正確に入力できる		キーボードなどにより十分な速さで正確に文字が入力できる		
イ 電子ファイルの保存や呼び出し								
電子ファイルの保存や呼び出しができる		電子ファイルの検索ができる		電子ファイルのフォルダ管理ができる		電子ファイルの運用(圧縮・パスワードによる暗号化・バックアップ等)ができる		
ウ 画像編集アプリケーションの操作、目的に応じたアプリケーションの選択と操作								
画像編集・ペイント系アプリケーションの操作ができる		映像編集アプリケーションの操作ができる		目的に応じたアプリケーションの選択と操作ができる		目的に応じた適切なアプリケーションの選択と操作ができる		
エ クラウドを用いた協働作業								
						クラウドを用いた協働作業ができる		
2 問題解決・探究における情報活用の方法の理解 ① 情報収集・整理、分析、表現、発信の理解								
ア インターネットを用いた効果的な情報の検索と検証の方法								
			インターネット上の情報の閲覧・検索ができる		電子的な情報の送受信やAND、ORなどの論理演算しを用いた検索ができる		情報通信ネットワークなどからの効果的な情報の検索と検証ができる	
イ 簡単な絵や図、表やグラフを用いた情報の整理の方法								
簡単な絵や図、表やグラフを用いた情報の整理の方法が分かる		観点を決めた表やグラフを用いた情報の整理の方法が分かる		目的に応じた表やグラフを用いた情報の整理の方法が分かる		表やグラフを用いた統計的な情報の整理の方法が分かる		
ウ 情報の特徴、傾向、変化を捉える方法								
情報を組み合わせて表現する方法が分かる		情報の特徴、傾向、変化を捉える方法が分かる		複数の観点から情報の傾向と変化を捉える方法が分かる		目的に応じて情報の傾向と変化を捉える方法が分かる		
エ 相手や目的を意識したプレゼンテーションの方法								
相手に伝わるようなプレゼンテーションの方法が分かる		相手や目的を意識したプレゼンテーションの方法が分かる		聞き手とのやりとりを含む効果的なプレゼンテーションの方法が分かる		Webページ、SNS等による発信・交流の方法が分かる		
<b>B 思考力・判断力・表現力等</b>								
1 問題解決・探究における情報を活用する力(事象を情報とその結び付きの視点から捉え、情報及び技術を適切かつ効果的に活用し、問題を発見・解決し、自分の考えを形成していく力)								
① 必要な情報を収集、整理、分析、表現する力 ② 新たな意味や価値を創造する力 ③ 受け手の状況を踏まえて発信する力 等								
ア 調査や資料等から情報を収集し、簡単な表やグラフ、「シンキングツール」等を用いて情報を整理する								
身近なところから課題に関する様々な情報を収集し、簡単な絵や図、表やグラフを用いて、情報を整理することができる		調査や資料等から情報を収集し、情報同士のつながりを見つけたり、観点を決めた簡単な表やグラフ等や習得した「シンキングツール」を用いて情報を整理することができる		目的に応じた情報メディアを選択し、調査や実験等を組み合わせながら情報収集し、目的に応じた表やグラフ、「シンキングツール」を適切に選択・活用し、情報を整理することができる		調査を設計し、情報メディアの特性を踏まえて、効果的に情報検索・検証し、目的や状況に応じて統計的に整理したり、「シンキングツール」を組み合わせて活用したりして整理することができる		
ウ 情報の全体的な特徴や要点を捉え、新たな考えや意味を見いだす								
情報の大体を捉え、分解・整理し、自分の言葉でまとめることができる		情報を抽象化するなどして全体的な特徴や要点を捉え、新たな考えや意味を見いだす		情報の傾向と変化を捉え、類似点や規則性を見つけ他との転用や応用を意識しながら問題に対する解決策を考察することができる		目的に応じ、情報と情報技術を活用して、情報の傾向と変化を捉え、問題に対する多様な解決策を明らかにすることができる		
エ プレゼンテーション、Webページ、SNS等によって表現・発信、創造する力								
聞き手とのやりとり等を取り入れ、効果的に表現する		表現方法を相手に合わせて選択し、相手や目的に応じ、自他の情報を組み合わせて適切に表現することができる		目的や意図に応じて複数の表現手段を組み合わせる表現し、聞き手とのやりとりを含めて効果的に表現することができる		目的や意図に応じて情報を統合して表現し、プレゼンテーション、Webページ、SNS等によって表現・発信、創造することができる		
オ 学びに向かう力・人間性等 1 問題解決・探究における情報活用の態度								
① 多角的に情報を検討しようとする態度								
ア 課題に関係する情報を見つけようとする								
課題と関係する情報を見つけようとしている								
イ 複数の情報から問題を構造的に理解しようとする								
		情報同士のつながりを見つけようとしている		情報を構造的に理解しようとしている		課題を情報とその結び付きの視点から捉えようとしている		
ウ 新たな視点を受け入れて検討しようとする								
情報を複数の視点から捉えようとしている		新たな視点を受け入れて検討しようとしている						
エ 物事を批判的に考察し判断しようとする								
				物事を批判的に考察しようとしている		物事を批判的に考察し判断しようとしている		
② 試行錯誤し、計画や改善しようとする態度								
ア 複数の情報から、自らの課題や目的に応じた選択をし、課題解決の計画を立てたり、評価・改善したりする								
問題解決における情報の大切さを意識して行動している		目的に応じて情報の活用を見通しを立てようとしている		複数の視点を想定して計画しようとしている		条件を踏まえて情報及び情報技術の活用計画を立て、試行しようとしている		
イ 情報の活用を振り返り、良さを見つけようとしている								
		情報の活用を振り返り、改善点を見いだそうとしている		情報及び情報技術の活用を振り返り、効果や改善点を見いだそうとしている		情報及び情報技術の活用を効率化の視点から評価し改善しようとしている		

※ 参考「兵庫県情報活用能力体系表例」「情報活用能力の体系表例(IE-Schoolにおける指導計画を基にステップ別に整理したもの)(令和元年度版)全体版」  
 ※ 想定される学習内容のうち「基本的な操作等」「問題解決・探究における情報活用」に焦点化。  
 ※ 「プログラミング」については、兵庫県版プログラミング教育スタートバック及び小中9年間モデルイメージ・カリキュラムによる。  
 ※ 「情報モラル・情報セキュリティ」については、兵庫県版情報モラル指導モデルカリキュラム及び「ひょうごGIGAワークブック」参照のこと。